

菅江真澄が愛した 秋田・男鹿半島

江戸時代の紀行家・菅江真澄の旅を通して、 日本海の荒波や奇祭なまはげ、ハタハタの伝統食など 冬の男鹿ならではの魅力を感じてください。

2010年1月16日日 17

旅行代金●おとな(中学生以上)1人 宿泊代、昼食代、入館料、保険料などを含む(バス代・ガイド代は企画者が負担)

※子ども(6~12歳) 8,000円

募集定員●20人 定員になり次第締め切ります。(最少催行人数4人) 詳細裏面

参加条件••••••• アンケートに協力をお願いします。 探訪会の様子を写真撮影させて いただきます。



菅江真澄肖像画(能代市•杉本家蔵)

菅江真澄 (1754~1829) は、江戸時代 後期の紀行家で、生地である三河国 (現在 の愛知県東部)を旅立ち、北陸、東北、北 海道を巡り歩きました。もっとも長く滞在し たのは秋田で、76歳で亡くなるまで29年間 を過ごしています。

真澄は、行く先々で見聞きした風景・民俗・ 産物・歴史・伝説など様々な事柄を記録し、 残された図絵は2500枚にもなります。国の 重要無形民俗文化財になっている「男鹿 のなまはげ | を最初に記録にとどめた人で もあります。日本の民俗学の創始者の一人 である柳田国男は、真澄を民俗学の先覚 と高く評価し、その業績をたたえています。



旅行企画・実施●(株)秋田中央観光社 秋田県知事登録旅行業第2-11 協力●男鹿半島まるごと博物館協議会

2010年1月16日

探訪コース

◆ツアー1日目

秋田駅東口出発(9:00)→菅江真澄資料センター(秋 田県立博物館)→寒風山→昼食(男鹿の伝統食) /真山神社、なまはげ館、真山伝承館→入道崎→ 男鹿温泉(「萬盛閣 | 宿泊)

◆ツアー2日目

男鹿温泉出発(9:00)→湯の尻海岸→八望台→男 鹿水族館GAO/昼食(男鹿の地産地消ランチ)→ 山王神社→赤神神社→諸井醸造所(しょっつる工場) 見学→秋田駅東口到着解散(16:30)

●昼食

ツアー1日目=地元主婦らによる男鹿の郷土料理 ツアー2日目=男鹿水族館GAOレストラン「フルット」で 男鹿の食材にこだわった地産地消ランチ



菅江真澄が描いたハタハタの雌(秋田県立博物館蔵 写本)

ご案内(お申し込みの前に必ずお読みください)

- ●3~5人の相部屋となります。2人部屋等をご希望の場合は追加料金となり ます。
- ●寒くない服装、滑りにくい靴でご参加ください。
- ●天候その他の事情により、やむを得ず行程を変更させていただく場合もござ います。あらかじめご了承ください。
- ■最少催行人数に満たない場合は中止する場合があります。その時は、ツアー 実施日の3日前までに中止の旨をお知らせします。
- ●探訪会の写真撮影と車内でのアンケートにご協力いただきます。

天野荘平(男鹿市菅江真澄研究会副会長) 永井登志樹(男鹿市菅江真澄研究会) ほか

申し込み締め切り 2010年1月8日(金)

※定員になりしだい締め切ります。

募集人数 20人(先着順)

申し込み方法 参加ご希望の方は電話でお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先

旅行企画 実施

秋田中央観光社 秋田県知事登録旅行業第2-11 秋田市川元山下町6-18 総合旅行業務取扱管理者 相澤達生

18-862-4562

その他の問い合わせ

男鹿半島まるごと博物館協議会事務局(無明舎出版内) 秋田市広面字川崎112-1

電話:018-832-5680

- ●旅行代金には諸税を含みます。
- ●旅行代金には、行程に記された施設の入場料、昼 食(2日分)、宿泊代(夕・朝食付)、保険料が含ま れます。集合場所までの交通費等、料理・酒類の 追加分は含みません。
- ●宿泊先等においてお客様が酒類・料理・その他の サービス等を追加した場合は、原則として追加料金 と諸税が課せられますのでご了承ください。
- ●貸切バス、ガイド料は、男鹿半島まるごと博物館協 議会が負担します。
- ●旅行代金は、出発当日に集合場所のスタッフにお 支払いください。
- ■ご利用人数の変更や取消の場合には、取消料を 請求させていただきます(下記の表参照)。

旅行開始の前日より起算してさかのぼって			
21日目にあたる日 以前の解除	20日前〜8日前 の解除	7日前〜2日前 の解除	旅行開始日の 前日の解除
無料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%
旅行開始日の当日の解除		旅行開始後の解除及び 無連絡不参加	
旅行代金の50%		旅行代金の100%	

宿泊先...

男鹿温泉鄉

網元の宿萬盛閣

源泉かけ流しの天然 温泉が楽しめます お部屋は全室和室と





男鹿市北浦男鹿温泉 電話0185-33-3161